



安全安心部会開催について

安全安心部会長 佐藤 正利

コロナ禍ではありましたが、手指の消毒、ソーシャルディスタンスの確保等感染対策等を行い、本年度第1回の安全安心部会を7月29日（水）に開催しました。

議題は、令和2年度安全安心部会の事業とその運営について説明、協議を行いました。

コロナ感染対策の関係で多くのコミュニティ事業が中止される中、安全安心部会が担当する本年度事業は12月に開催予定の第2回防災倉庫の点検作業と水田校区歳末一斉パトロールのみとなりました。

議題の2番目は、7月9日三役会で決定のあった、各行政区内における小中学生、高齢者等の交通安全対策事業の推進について概要を説明しました。



水田天満宮の史跡を訪ねて 宮司 宮原 恭盛

水田天満宮には飛地境内地に建立されたお社が2社あります。水田下町の下宮と折地作出の大神宮です。下宮は水田天満宮の御旅所として大切なお社で、水田天満宮創建時より建立され、歴史を共に歩んできました。

ご祭神は菅原道真公の叔母「覚寿尼」（かくじゅに）をお祀りしております。道真公が太宰府にお下りなされる時に、大阪の道明寺での覚寿尼との一夜のお別れは有名です。エピソードで、道真公は叔母と一夜に亘り語り合い、白鷄が鳴いたので朝が来たと別れを惜しみ太宰府に旅立たれ、白鷄が鳴かなければと残念がられたとの事。

下宮は、例年8月25日に催される千灯明花火大祭で神事「はだかんぎょう」を奉納する氏子の禊所（みそぎしょ）として昼夜2回に亘り、この下宮に参拝し心身を清め水田天満宮で千灯明を灯し花火を奉納致します。10月25日の御神幸祭稚児風流では御幸の神事で、神輿や稚児行列・稚児風流が下宮までお下りお供し、締め稚児風流を奉納します。道真公は年に1回、このお下りで叔母の覚寿尼との再会です。

下宮は、平成25年に県道水田大川線の道路改良の為に南側に歩道が出来、御本殿や禊所等を改修し鳥居を新に建立しました。写真は当時の下宮御旅所再建竣工記念写真です。

この一年間、「水田天満宮の史跡を訪ねて」を掲載させて頂きありがとうございました。水田天満宮の史跡・歴史をご理解頂き、私達の宝物を未来へ伝承致しましょう。

